

方針Ⅱ	家庭教育	保護者の家庭教育 への支援	目標 1	家庭教育支援の推進
-----	------	------------------	------	-----------

1 これまでの取り組み

(1) 現 状

全ての教育の原点は家庭教育に始まるという視点から、市では、家庭教育の重要性、周知及び意識の向上を図るため、連続10回講座としていた家庭教育講座を1回だけでも参加できる仕組みに変えるとともに、保護者に向けてSNSを活用しオンライン配信をするなど、保護者だれもが参加しやすい環境を整えてきました。



家庭教育講座を受講する保護者

また、就学時健診時の講演会は、小学校入学後も保護者同士がよりよい人間関係を築くきっかけとなるよう保護者間の交流が深まる内容づくりに取り組んできました。

年2回発行の家庭教育通信では、実際の子育て経験者からの声を寄稿していただくなど、子育てに役立つ情報を発信し、保護者がより身近に家庭教育を感じられる機会となるように情報を届けています。

(2) 課 題

- ① 保護者が子育てや教育の悩みを安心して共有・相談できる体制が必要です。
- ② インターネットやSNSを通じて子育てや教育に関する情報はあふれているものの、必要な情報を選び取ることが難しく、子育て方針の迷いや混乱を解決するための手段が求められます。
- ③ 共働きや長時間労働により、親子が一緒に過ごす時間が十分に取れず、保護者自身が「子どもと関わっていない」「会話が少ない」と感じ、育児への不安や焦りが生じ、家庭教育への負担感が増加している傾向にあり、子育て家庭を支える支援が必要です。

(3) 実 績 【「家庭教育講座」「就学時健診時講演会」「家庭教育通信」の実績】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
家庭教育講座開催数	10	10	10	8	8	8回
就学時健診時の講演会数	9	9	9	9	9	9回
家庭教育通信の発行回数	2	2	2	2	2	2回

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

子どもたちの取り巻く環境や学校が抱える課題が多様化・複雑化しており、様々な課題に対応するため、市では、保護者が家庭教育を行うのに必要な知識を学習する機会を提供します。

保護者同士が悩みを共有できる「交流・学びの場」として、単発講座やオンライン配信の継続実施、親子のコミュニケーションの場として、夏休み親子講座を開催し、保護者同士のネットワークを構築することで、育児不安の軽減や家庭教育力の向上を図っていきます。



また、就学時健診時の講演会では、保護者同士で情報交換や相談し合える参加型講座を開催し、子育てについて学び合える機会をつくっていきます。

講座終了後にはアンケートや意見募集を行い、保護者が必要とする情報に応じて内容を更新します。

家庭教育通信では、短時間で読めるコラム形式にする等、子育てに関する情報やヒントを気軽に活用できるよう工夫を盛り込んで発行してまいります。



(2) 施策の具体化

事業名	家庭教育支援事業		
事業内容 ・ SDGs	 4 質の高い教育をみんなに	 17 パートナシップで目標を達成しよう	学校と家庭・地域と連携・協力し、家庭教育に関する情報や学習機会の提供を行う。
担当課	生涯学習課	関係課	市内小中学校
連携・協働			

(3) 指標 【「家庭教育講座」「就学時健診時講演会」「家庭教育通信」の実績】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
家庭教育講座開催数						8回
就学時健診時の講演会数						9回
家庭教育通信の発行回数						2回

1 これまでの取り組み**(1) 現 状**

放課後等に小学校の特別教室等を活用し、地域住民の協力を得ながら子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流によって地域コミュニティの充実を図る事業として、市では「放課後子ども教室」を開設して、地域の方々の参加を得ながら、子どもたちの成長を見守っています。



放課後子ども教室で体験学習をする児童

また、運営の在り方として、保護者運営、市教育委員会運営、民間委託等検討を重ね、現在に至っています。

現在の開設校は、白井第一小学校、白井第二小学校、大山口小学校、七次台小学校（令和7年度新規開設）、池の上小学校、桜台小学校で、うち白井第二小学校と大山口小学校は市教育委員会が運営、その他の開設校の運営は事業者へ委託しています。

(2) 課 題

- ① 家庭、学校、地域が一体となり「地域の子どもは地域で育てる」という意識を向上させつつ、子どもを安心・安全に見守るための居場所の確保が必要です。
- ② 全ての子どもが参加できるよう、放課後子ども教室と各小学校に開所している放課後児童クラブ（学童保育）との連携や一体的な運用を検討する必要があります。
- ③ 地域の人材不足により子どもを安心・安全に見守ることが難しい傾向となっているため、放課後子ども教室の運営や支援について検討していく必要があります。

(3) 実 績 【放課後子ども教室開設校】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
設置校数	3	3	4	5	6	9校
新規開設校	池の上小	－	第一小	桜台小	七次治小	－
備 考						

2 これからの取り組み


(1) 施策の方向性

地域の人材不足の解消や、放課後児童クラブ（学童保育）と連携した運営を実施するため、同一事業者による市内小学校での放課後子ども教室の開設を計画的に進め、地域の子どもたちが安心して遊び学べる居場所づくりを支援します。

また、現在市が運営している白井第二小学校、大山口小学校についても順次委託化を進め、市内全小学校での放課後子ども教室の開設に取り組んでいきます。

Topics	放課後児童クラブ（学童保育）との連携
<p>白井第二小学校では、令和6年度に夏休み期間中の特別企画として、放課後児童クラブ（学童保育）スタッフと連携して「なつやすみ教室」を実施しました。</p> <p>ペットボトルを使って風鈴を作ったり、ゲームコーナーでスイカボール割りをしたり、今後も多種多様なアイデアを用いて、家庭、学校、地域、そして放課後児童クラブ（学童保育）との連携を深めながら、子どもたちの居場所づくりを進めていきます。</p>	

(2) 施策の具体化

事業名	放課後子ども教室推進事業			
事業内容 ・ SDGs		放課後の子どもの安心・安全な居場所づくりとともに、様々な体験活動や学習機会を提供する。		
担当課	生涯学習課	関係課	保育課	
連携・協働	放課後児童クラブ			

(3) 指標 【市内小学校における放課後子ども教室の設置状況】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
設置校数						9校
新規開設校				-	-	-
備考					-	-

1 これまでの取り組み**(1) 現 状**

市では、一人ひとりの充実した生活の実現と市民参加による協働のまちづくりを推進するため、主体的な「学び」「交流」を支援する市民大学校を開校し、健康の維持・改善、地域での仲間づくり、退職後の地域中心の生活づくりを支援しています。



講座に参加する受講生

公民館事業として行っていた「福寿大学」と「健康文化都市大学」を統合し、健康の維持改善、地域活動の実践の懸け橋となる市民講座として平成17年度に市民大学校を開校し、延べ1,000人以上の受講生が卒業しました。

卒業後は、地域イベントの活動や団体活動に積極的に参加したり、グループを結成するなど、交流の輪が広がり、地域社会の発展に大きく貢献してきました。

しかしながら、近年は受講生の減少や高齢化、リピーターの増加などにより、当事業の目的（健康増進、地域活動のきっかけづくり、人づくり、郷土愛、生きがいづくり等）が実践できていない状況です。

受講生の増加を見込んで土日開催を実施しましたが、若者の参加はなく、高齢者も家族との時間を優先するため、全体として受講申込者が減っている状況にあります。

(2) 課 題

- ① ライフスタイルの多様化に伴い、学習機会が広がる方法を整える必要があります。
- ② 学習内容が受講者個人の学びにとどまる傾向にあるため、その後の地域活動や社会参画につながる内容の講座を提供することが求められます。
- ③ 講座の形式やテーマが従来型にとどまっているため、現代の学び方（短期集中型、1講座から受講可能など）に対応できる対策を検討します。

(3) 実 績 【市民大学校講座参加人数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
受講者数	25	23	50	43	30	50人

2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

社会状況の変化や人々の関心の多様化が進み、市民のライフスタイルや学びへのニーズも変化しています。

そのため、これまでの講座や講習のあり方を見直し、短期集中型や1講座からでも受講可能にするなど、柔軟な受講スタイルを導入し、現代のライフスタイルに対応していきます。



趣味や教養を高めるだけでなく、健康（健康寿命を延ばす運動・食生活講座）、IT（スマートフォンやAI活用講座）、マネーリテラシー（投資教室）、多世代交流（現役世代向けのタイムマネジメント講座）など、幅広い分野の講座を検討し、令和9年度から新たに「ハッピーライフ Labo 事業」としてスタートします。

これからの時代は、人生100年時代と言われています。一人ひとりの学びを豊かにし、生活や人生に潤いが溢れるように、生涯を通じて学び合う機会を提供し、全ての人のウェルビーイングの実現のために生涯学習の取り組みを推進していきます。

(2) 施策の具体化

事業名	ハッピーライフ Labo 事業		
事業内容 ・ SDGs	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 11 住み続けられるまちづくりを
担当課	生涯学習課	関係課	人生を豊かにする多様な講座の提供、市民の生涯学習活動のきっかけをつくる。
連携・協働			

(3) 指標 【ハッピーライフ Labo 事業実績】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
実施回数	-					5回

1 これまでの取り組み**(1) 現 状**

市では、令和5年及び6年度に白井コミュニティセンター並びに白井工業団地協議会を中心とした実行委員会との共催で、子ども向け職業体験事業「ワーキング・キッズ・アドベンチャー」を白井第一小学校、白井第二小学校において開催しました。

また、令和7年度には教育委員会後援で「子どもの夢お仕事ランド」を、白井コミュニティセンターを会場に開催しました。

この事業は、市内で働く人と一緒に、その職業を子ども達が体験し、未来の自分を考え、生きる力を養うことや子どもたちの可能性を見つけられる職業体験イベントです。



警察官の聴取体験



消防署の救命救急体験

子どもたちは、自分で仕事を探し、それぞれの職業を体験することで、受付にある子ども銀行で模擬通貨（給料）がもらえ、キッズストアで買い物ができます。

働くことを体験し、仕事の楽しさや大変さ、そして、お金が循環する経済について学ぶことのできる機会を提供しています。

(2) 課 題

- ① 子どもたちに多様な職種に触れる機会を増やすため、地元企業の参加協力が必要です。
- ② 親子での参加が多いため、保護者が待機する場所が求められています。

(3) 実 績 【「ワーキング・キッズ・アドベンチャー」「子どもの夢お仕事ランド」への参加者数】

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	目標値
ワーキング・キッズ・アドベンチャー	—	151	151	169	—	—
子どもの夢お仕事ランド	—	—	—	—	159	—

※「ワーキング・キッズ・アドベンチャー」「子どもの夢お仕事ランド」共に年1回の開催

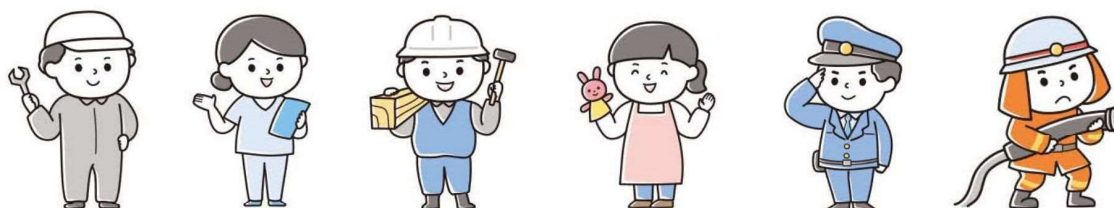
2 これからの取り組み

(1) 施策の方向性

これまで開催会場としていた白井コミュニティセンターや小学校施設から、拠点を市役所へ移し、より多くの職業体験を展開できる環境を整えます。

そして、地域企業や団体との協働に加え、市と包括連携している企業や市役所内の各部署の協働を得て、幅広い分野の職業体験を実施していきます。

従来からの報酬（模擬通貨）の仕組みを継続しつつ、子どもたちが「やってみたい！」と思える体験を通して、自主性を高め、社会の一員として「働くこと」「地域に関わること」を実感できる「子どもお仕事フェスタ」を実施します。



(2) 施策の具体化

事業名	子ども仕事体験事業		
事業内容 ・ SDGs	 4 質の高い教育をみんなに	 8 働きがいも経済成長も	市内小学生を対象に地元企業と協力し、職業体験学習「子どもお仕事フェスタ」を実施する。
担当課	生涯学習課	関係課	企画政策課
連携・協働	市内企業、公的機関		

(3) 指標 【「子どもお仕事フェスタ」の実施回数、参加企業数、参加者数】

	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値
実施回数						1回
参加者数（延べ）						220人

令和7年度活動報告

<印旛郡市社会教育委員連絡協議会>

日時	内容
11月11日(火)	印社連研修会及び印西市コスモスパレット視察
12月13日(土)	印旛郡市社会教育振興大会(八街市)
3月19日(木)	印社連第3回会議(白井市)

<千葉県社会教育委員連絡協議会>

日時	内容
5月14日(水)	県社連第1回理事会(オンライン)
7月17日(木)	県社連代議員会(県総合センター)
9月18日(木)	県社連第2回理事会(オンライン)
12月2日(火)	令和9年度 第58回関東甲信越静社会教育研究大会 千葉大会第1回準備委員会(オンライン)
12月4日(木)	県社会教育振興大会(県総合教育センター)
2月25日(水)	県社連第3回理事会及び 令和9年度 第58回関東甲信越静社会教育研究大会千葉大会 第2回準備委員会(鋸南町)
3月18日(水)	令和9年度関東甲信越静社会教育研究大会千葉大会に係る部会 (オンライン)

令和9年度第58回関東甲信越静社会教育研究大会 千葉大会概要 (案)

1 大会スローガン 未定

2 研究主題 未定

3 趣旨 未定

4 開催日 令和9年11月18日(木)・19日(金)

5 主催/共催 (予定)

第58回関東甲信越静社会教育研究大会千葉大会実行委員会、千葉県社会教育委員連絡協議会、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、一般社団法人全国社会教育委員連合、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会

6 参加予定人数

700名 ・ 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
 ・ 同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
 ・ 同地区の地域住民、NPO法人、社会教育士、学校関係等生涯学習・社会教育に関心のある方

7 開催地 (千葉市)

【1日目(全体会)】青葉の森公園芸術文化ホール(ホール)

〒260-0852 千葉県千葉市中央区青葉町977-1

【2日目(分科会)】未定

8 参加費 4,000円(参加資料代等)

9 日程(予定)

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
第1日目 11月19日(木)			受付	アトラクション	開会行事	記念講演	休憩	シンポジウム	閉会行事	分科会打合せ
第2日目 11月20日(金)	受付	分科会	閉会・解散	※受付時間開始 第1日目 11:40～ 第2日目 8:50～						

10 大会内容

○第1日目（全体会）

- ・アトラクション
- ・開会行事
- ・記念講演
- ・シンポジウム
- ・閉会行事

○第2日目（分科会）

5分科会の予定

分科会のテーマは現在検討中

※各分科会2事例（千葉県以外から1事例＋千葉県から1事例）

第58回関東甲信越静社会教育研究会千葉大会組織図（令和9年度版）（案）

